



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3799 URL https://www.keyware.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)三田 昌弘
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部長兼広報IR室長 (氏名)後根 桂二 (TEL)03(3290)1111
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	11,598	11.2	78	—	134	—	131	—
29年3月期第3四半期	10,428	△6.4	△337	—	△325	—	△353	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 132百万円(—%) 29年3月期第3四半期 △488百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	15.52	—
29年3月期第3四半期	△42.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,800	5,962	67.8
29年3月期	9,113	5,816	63.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 5,962百万円 29年3月期 5,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	4.1	250	175.5	200	40.0	150	63.1	17.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	9,110,000株	29年3月期	9,110,000株
② 期末自己株式数	607,599株	29年3月期	716,299株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	8,467,054株	29年3月期3Q	8,347,092株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調にあったものの、海外経済の不確実性や地政学リスクの高まりにより、先行き不透明な状況が続きました。

当社が属する情報サービス産業につきましては、本年1月に経済産業省が発表した平成29年11月の特定サービス産業動態統計(確報)によれば、売上高合計は前年同月比7.7%増と3ヵ月連続で前年度を上回ったものの、売上高の半分を占める「受注ソフトウェア」は前年同月比4.6%減と2ヵ月連続で前年度を下回りました。

このような状況のもと当社グループは、3ヵ年中期経営計画「中期経営計画2015」の基本方針である「既存事業の収益性向上と安定化」、「ポートフォリオの多様化」、「経営基盤の整備、改革」に基づき取り組みを進めました。既存事業においては、受注拡大に向け、既存顧客の深耕、新たなビジネスパートナーとの連携強化など積極的な営業活動を推進いたしました。併せて、採算性を重視した受注活動に取り組むとともに、不採算プロジェクトを抑制し、収益性の向上をはかりました。事業ポートフォリオの多様化に向けては、農業ICTや医療・ヘルスケア領域のほか、生産性改善コンサルティングサービス「バーチャルサポートセンター(VSC)*」といった新事業を推進いたしました。さらに、活力あふれる企業文化を醸成するために、社員参加型の経営改善活動IKI²！プロジェクト(イキイキプロジェクト)を推進するなど、経営基盤の整備、改革に努めました。

※バーチャルサポートセンター(VSC)：

営業部門などのホワイトカラーを中心に、低付加価値のものから高付加価値のものへ業務を組み替えていくことで、お客様の生産性向上を実現させるコンサルティングサービス

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね計画に沿って順調に推移し、受注高は12,431百万円(前年同期比2,565百万円増、26.0%増)、売上高は11,598百万円(同1,170百万円増、11.2%増)、営業利益は78百万円(前年同期は337百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は131百万円(前年同期は353百万円の損失)となり、前年同期比で大幅な改善となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① システム開発事業

受注高は8,316百万円(前年同期比2,045百万円増、32.6%増)、売上高は7,524百万円(同860百万円増、12.9%増)、営業利益は167百万円(前年同期は148百万円の損失)となりました。

受注・売上高につきましては、第1四半期での運輸系の大型案件の獲得に加え、第3四半期では医療系、通信系、運輸系で案件獲得などがあり、前年同期比で大幅に増加いたしました。損益面につきましては、売上高の増加に伴い損失が解消され、利益計上となりました。

② S I 事業

受注高は2,587百万円(前年同期比230百万円増、9.8%増)、売上高は2,598百万円(同17百万円増、0.7%増)、営業利益は15百万円(同15百万円減、48.9%減)となりました。

ERP系、流通系の新規案件の獲得などにより、受注高は前年同期比で増加となりました。損益面につきましては、売上高は前年同期比で微増となったものの、ERP系の利益率が低下したことなどにより、営業利益は前年同期比で減少いたしました。

③ その他事業

受注高は1,527百万円(前年同期比289百万円増、23.4%増)、売上高は1,475百万円(同291百万円増、24.6%増)、営業利益は5百万円(前年同期は33百万円の損失)となりました。

受注・売上高につきましては、第2四半期に引き続きサポートサービス事業が好調であったことに加え、新事業において次世代医療の実証事業の受託、バーチャルサポートセンター(VSC)案件の獲得などがあり、前年同期から大幅に増加いたしました。損益面につきましては、売上高の増加に伴い損失が解消され、利益計上となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、5,277百万円(前連結会計年度末比257百万円減、4.7%減)となりました。主な増減要因は、受取手形及び売掛金の減少、仕掛品の増加であります。

② 固定資産

固定資産残高は、3,523百万円(前連結会計年度末比55百万円減、1.6%減)となりました。主な減少要因は、ソフトウェアの減少であります。

③ 流動負債

流動負債残高は、2,303百万円(前連結会計年度末比222百万円減、8.8%減)となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の増加、1年内返済予定の長期借入金の減少、賞与引当金の減少であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、534百万円(前連結会計年度末比236百万円減、30.7%減)となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少であります。

⑤ 純資産

純資産残高は、5,962百万円(前連結会計年度末比146百万円増、2.5%増)となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において平成29年4月28日に公表いたしました内容から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,156,921	1,166,069
受取手形及び売掛金	4,085,739	3,322,679
商品及び製品	28,482	61,385
仕掛品	107,725	483,243
その他	159,598	246,292
貸倒引当金	△3,499	△2,442
流動資産合計	5,534,968	5,277,228
固定資産		
有形固定資産	114,682	108,558
無形固定資産		
のれん	434,283	405,022
その他	356,177	281,466
無形固定資産合計	790,461	686,489
投資その他の資産		
投資有価証券	2,529,188	2,578,993
その他	144,875	149,531
貸倒引当金	△339	△339
投資その他の資産合計	2,673,724	2,728,185
固定資産合計	3,578,867	3,523,234
資産合計	9,113,835	8,800,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	780,691	677,676
短期借入金	-	100,000
1年内返済予定の長期借入金	603,330	478,330
未払法人税等	46,433	22,324
賞与引当金	527,323	317,174
その他	568,473	707,976
流動負債合計	2,526,253	2,303,481
固定負債		
長期借入金	634,368	393,338
資産除去債務	102,550	104,085
その他	34,383	36,890
固定負債合計	771,302	534,314
負債合計	3,297,555	2,837,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	3,763,219	3,852,101
自己株式	△215,338	△159,211
株主資本合計	5,792,355	5,937,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,484	45,177
退職給付に係る調整累計額	△8,560	△19,876
その他の包括利益累計額合計	23,924	25,300
純資産合計	5,816,279	5,962,666
負債純資産合計	9,113,835	8,800,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	10,428,119	11,598,159
売上原価	9,016,751	9,760,556
売上総利益	1,411,367	1,837,603
販売費及び一般管理費	1,748,435	1,758,940
営業利益又は営業損失(△)	△337,068	78,663
営業外収益		
受取利息	7	32
受取配当金	2,327	2,415
持分法による投資利益	24,649	68,107
その他	13,934	22,191
営業外収益合計	40,918	92,746
営業外費用		
支払利息	12,885	8,259
支払手数料	12,765	26,023
その他	4,163	3,125
営業外費用合計	29,814	37,407
経常利益又は経常損失(△)	△325,963	134,001
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△325,963	134,001
法人税等	27,578	2,608
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△353,542	131,393
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△353,542	131,393

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△353,542	131,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,616	6,612
持分法適用会社に対する持分相当額	△144,693	△5,235
その他の包括利益合計	△135,077	1,376
四半期包括利益	△488,619	132,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△488,619	132,770
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への 売上高	6,663,398	2,580,898	1,183,822	10,428,119	—	10,428,119
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	209,413	786	336,252	546,452	△546,452	—
計	6,872,812	2,581,684	1,520,074	10,974,571	△546,452	10,428,119
セグメント利益 又は損失(△)	△148,154	30,754	△33,925	△151,325	△185,742	△337,068

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△185,742千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への 売上高	7,524,229	2,598,406	1,475,524	11,598,159	—	11,598,159
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	532,387	850	231,149	764,387	△764,387	—
計	8,056,616	2,599,257	1,706,673	12,362,547	△764,387	11,598,159
セグメント利益	167,383	15,700	5,790	188,875	△110,212	78,663

(注) 1. セグメント利益の調整額△110,212千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。